

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 法人の概況

1. 設立年月日 平成21年6月1日

2. 定款に定める目的

本社团法人は、文化財保護に携わる民間調査組織として必要な技術の研鑽、向上を図り、もってわが国文化芸術の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) 文化財保護に関する知識の教授
- 2) 文化財保護に関する技術力向上のための研修会・講習会の開催
- 3) 発掘調査技術者の資格検定試験の実施および資格の認定
- 4) 文化財保護に関するセミナーの企画・運営又は開催
- 5) 文化財保護にかかる図書および記録の閲覧、書籍の制作、電子出版物の提供
- 6) 文化財保護に関する国内外の団体等との連絡協調
- 7) 講習テキスト、試験問題集、会員名簿ほか図書の出版販売
- 8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 令和5年3月31日現在の会員数

種類	当期末	前期末比増減
普通会員	80社	-1社
賛助会員	5社	-1社
合計	85社	-2社

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区日本橋富沢町 10-13-301

7. 令和5年3月31日現在の役員

役職	氏名	現職
理事長	長谷川 渉	(株)武蔵文化財研究所 代表取締役
副理事長	橋本眞紀夫	パリノ・サーヴェイ(株) 顧問
専務理事	西城 修	国際航業(株)

常務理事	黒木 隆史	日本海航測(株) 代表取締役社長
	河合 英夫	(株)玉川文化財研究所 専務取締役
	平井 貢	(株)シン技術コンサル 常務取締役
	山口 寛	ナカシャクリエイティブ(株) 代表取締役社長
	濱出 正	(株)パスコ 上席執行役員
理事	森 允	(株)イビソク 代表取締役社長
	安部 清美	扇精光コンサルタンツ(株) 代表取締役社長
	板野 伸彦	大成エンジニアリング(株) 取締役
	岩立 二郎	(株)島田組 代表取締役社長
	加藤 成樹	加藤建設(株) 代表取締役
	日沖 剛史	(有)毛野考古学研究所 代表取締役
	吉田 淳志	(株)吉田建設 取締役
	清水 章弘	安西工業(株) 代表取締役
	梅原 亮介	国際文化財(株) 代表取締役社長
監事	中川 廣	八州開発(株) 代表取締役社長

8. 令和5年3月31日現在の職員

職員数 2名（常勤2名、うち1名は出向者）

II 事業の概要

1. 事業の実施状況

令和4年度はコロナ禍の影響がありましたが、事業計画書に基づき実施いたしました。

1) 総務委員会（委員長 橋本眞紀夫）

本委員会は、埋蔵文化財の調査に携わる者の資格として、埋蔵文化財調査士・調査士補・発掘員の資格認定及び、CPD（継続教育）ポイントの付与を行っております。埋蔵文化財調査士は8名の受験者があり、資格試験を9月10日に実施しました。合格者は、行政経験者4名、埋蔵文化財調査士補から受験者4名の8名となりました。埋蔵文化財調査士補は24名の受験者があり、指定講習会を7月22・23日の2日間で全10講座（オンライン）実施し、8月27日に資格試験を行いました。合格者は、23名となりました。

CPD委員会は、6月と12月に埋蔵文化財調査士・調査士補から申請されたCPDのポイント集計と認定作業を行いました。6月集計では178名（調査士123名、調査士補55名）から626件の申請がありました。12月集計では136名（調査士91名、調査士補45名）から559件の申請がありました。

2) 技術研修委員会（委員長 河合英夫）

本委員会は、民間調査組織の埋蔵文化財調査士・調査士補の方をはじめ調査力の向上と、質の確保を図ることを大きな柱として活動しております。今期は、8月に「紀要」第6号の発行と配布を行いました。また技術研修会を2回開催、第1回を「埋蔵文化財三次元計測の実践」、と題して、鹿児島国際大学を会場として6月28日に開催し、10名が受講しました。第2回を「埋文写真の基礎知識 ーより良い写真記録を遺すためにー」、「独立カメラマンの撮影方法 ー理論と実践ー」と題して、オンライン方式により10月29日に開催し、77名が受講しました。

また、民間調査組織の考古学の基礎的な技術や方法論に基づいた、調査から報告書の内容を含めて調査力の向上や質の確保を図るため、民間調査組織が作成した調査報告書を審査して優秀なものを顕彰する表彰制度に基づき、第10回優秀調査報告書審査会を

開催し、3社を最優秀調査報告書、5社を優秀調査報告書に選定するとともに受賞者に賞状を授与しました。

3) 考古検定検討委員会（委員長 長谷川渉）

本委員会は、広く国民のみなさまが日本の遺跡や文化財に思いを馳せ、考古学に親しみ、ひいては歴史と考古への知的探究を目指していただくことを目的に、活動しております。

今期は、第14回考古検定を11月3日～13日の期間で、入門・初級・中級・上級・最上級の5クラスで実施いたしました。今後の考古検定に向けて、受験者のアンケートを精査し、満足度の高い検定となるよう取り組んでおります。

4) 事業委員会（委員長 黒木隆史）

本委員会は、関係行政機関に民間調査組織の活用にあたっての具体的提言を行い、より一層の行政との連携・協働を図ることを目標に活動しております。さらに、何時でも、何処でも起こり得る激甚災害等への支援活動を行ってまいります。

今期は、3月に文部科学大臣への要望書提出し、当協会の意思を直接お伝えしました。

5) 広報委員会（委員長 山口寛）

本委員会は、当協会の目的である「文化財保護に関する調査、研究を通じて埋蔵文化財事業の健全な発展を図り、もってわが国の文化芸術振興に寄与する」ための広報・情報発信に取り組んでおります。

今期は、7月に会員企業の概要、埋蔵文化財事業に関する事業内容や有資格者の実態を掲載した令和4年度埋蔵文化財調査要覧の監修（企画・編集）と配布を行いました。

また、8月に協会活動内容と会員のPRメッセージを紹介する会報「飛天」の発行と配布を行いました。

6) 調査士会（世話人 橋本眞紀夫）

本調査士会は、各支部に世話人を選出し支部域の課題と資格者の調査力（スキル）向上を目的とした活動を行います。日本文化財保護協会の活動協力や地域における文化財にかかわる社会貢献も重視しております。

今期は、『月刊考古学ジャーナル10月臨時増刊号「考古企業の諸類型」』『日本文化財保護協会・埋蔵文化財調査士の現状』への執筆を調査士会メンバーに依頼しました。

7) ①「座談会」プロジェクト（リーダー 橋本眞紀夫）

今期のプロジェクトは、考古学専門誌臨時増刊号に掲載する座談会のテーマを「考古企業の諸類型」とし、企画・開催、編集を行いました。

②「遺跡調査ハンドブック」制作プロジェクト（リーダー 河野一也）

今期は、プロジェクト会議を3回開催し構成等企画及び、一部編集を行いました。

③「安全衛生マニュアル」作成プロジェクト（リーダー 橋本眞紀夫）

今期は、7月に会員へ安全衛生に関するアンケート調査を実施し、結果を基に編集会議を行いました。

④「考古学ハンドブック」作成プロジェクト（リーダー 橋本眞紀夫）

今期は、基本構想の検討を行いました。今後、具体的な内容構成を協議決定し令和5年度に校了まで行う予定です。

2. 当期の重要な契約

なし

3. 令和4年度会議等一覧

4月	13日	第1回理事会
	14日	優秀調査報告書審査会（第三者審査会／リレー方式）
	19日	南関東支部 東京都地区幹事委員会議
	23日	第1回遺跡調査ハンドブック制作PJ会議（オンライン方式）

5月	12日	第13回 定時社員総会
	12日	特別講演会（オンライン形式）
6月	8日	第1回 安全衛生マニュアル制作PJ会議（オンライン方式）
	11日	CPD 委員会（オンライン方式）
	14日	第2回 遺跡調査ハンドブック制作PJ会議（オンライン形式）
	28日	第1回技術研修委員会（九州沖縄支部）
7月	1日	「考古学専門誌」企画編集PJ 鼎談
	7日	「考古学専門誌」企画編集PJ 座談会
	7日	臨時理事会（ハイブリッド形式）
	22-23日	埋蔵文化財調査士補指定講習会（オンライン形式）
	26日	第1回 考古検定検討委員会（ハイブリッド形式）
	28日	第3回 遺跡調査ハンドブック制作PJ会議（オンライン形式）
8月	4日	第1回 支部事業委員会全体会議
	10日	過去問題集④制作PJ会議（ハイブリッド形式）
	18日	過去問題集④制作PJ会議（ハイブリッド形式）
	18日	第1回 試験管理委員会（第三者委員会）
	19日	過去問題集④制作PJ会議（ハイブリッド形式）
	27日	埋蔵文化財調査士補 資格試験
	31日	第1回 北陸支部会議
9月	10日	埋蔵文化財調査士 資格試験
	10日	第2回 試験管理委員会（合否判定会議/第三者委員会）
	27日	第2回 考古検定検討委員会（ハイブリッド形式）
10月	6日	第3回 考古検定検討委員会（ハイブリッド形式）
	7日	第1回 常務理事会（ハイブリッド方式）
		第1回 支部長会議（ハイブリッド方式）
	25日	第2回 安全衛生マニュアル制作PJ会議（オンライン方式）
29日	第2回 技術研修委員会（北陸支部）	
11月	3-13日	第14回考古検定
12月	4日	CPD 委員会（オンライン方式）
	9日	第2回 理事会
	15日	第4回 考古検定検討委員会（過去問題集制作）（ハイブリッド形式）
	16日	南関東支部 支部役員会議
	21日	考古検定委員会（第三者委員会/書面方式）
3月	3日	第2回 常務理事会
	22日	第3回 理事会

以上